

施策評価シート（令和2年度 実績）

まちづくりの方向性	交通環境と防災対策の向上
重点的方針	3-3 都市基盤の強化と町民の交通環境の向上
概要	<p>安全で快適な暮らしを支える道路や橋りょう、トンネル等、都市基盤の適切な維持管理を計画的に推進するとともに、交通不便地域の解消に努め、町民の交通環境の向上を図ります。</p> <p>都市機能・行政機能が集中する二宮駅やラディアン周辺へ、誰もが移動しやすいよう、道路整備を進めるとともに、公共交通による移動のしやすさの向上を図ります。</p>

No.	関連する予算等事業名	トータルコスト（千円）			庁内評価（2次評価）		
		R1	R2	R3	R1	R2	R3
1	土木管理経費	5,889	6,159		適当・維持	適当・維持	
2	道路新設改良事業	1,447	15,063		適当・維持	適当・維持	
3	道路維持管理経費	212,804	120,159		適当・維持	適当・維持	
4	狭あい道路等拡幅整備事業	31,925	28,118		適当・維持	適当・維持	
5	河川維持管理経費	1,630	1,954		適当・維持	適当・維持	
6	地域公共交通推進事業	1,190	3,525		適当・維持	適当・維持	
7	コミュニティバス運行事業	10,535	12,938		適当・維持	適当・維持	
合計		265,420	187,916	0			

成果（○） 課題等（●）	<p>○山西子どもの広場跡地道路新設改良工事を実施し、地域住民の利便性を向上させた。</p> <p>○1級町道5号線（富士見が丘入口交差点から新田代橋まで）及び1級町道7号線（KDDI跡地からNTT東日本まで）舗装補修工事を実施し、道路の安全性を向上させた。</p> <p>○コミュニティバスの乗降データ等で利用実態を把握するとともに、町民への交通アンケートで意識や課題を抽出した。</p> <p>●高齢化の進展による福祉的要素の交通支援のニーズが高まっているため、公共交通の維持を前提とした交通支援のあり方について検討する必要性がある。</p>
-----------------	---

分析					
分析の視点	高い	←————→			低い
	5	4	3	2	1
妥当性	■	□	□	□	□
有効性	■	□	□	□	□
効率性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□

※1次評価「A：十分な成果があった」「B：一定の成果があった」「C：あまり成果がなかった」「D：成果が得られなかった」

総合評価（評価・理由等）	
B：一定の成果があった	<p>町道の日常点検、定期点検パトロールの実施などにより、道路の修繕箇所を把握し、迅速な対応につながっている。また、橋りょう長寿命化修繕計画を新たに策定したことによって、予防保全の観点に基づいた補修計画を立て、計画的に実施していく。</p> <p>地域公共交通については、感染症の影響で周辺自治体での路線バスの減便・廃線が進む中、交通施策と福祉施策を切り分けたいうえで、高まる福祉的ニーズにどのように対応していくか検討していく。</p>

町の最終方針（今後の方向性）	
継続推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 今後も、道路等の点検結果に基づき、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的に改修等を推進していく。</li><li>・ 地域公共交通については、路線バスの減便・廃線等の状況も踏まえ、交通施策と福祉施策を切り分けたうえで、高齢化の進展により高まる福祉的ニーズにどのように対応していくか検討していく。</li></ul>